

1. 地域における技能振興事業の実施

① 技能五輪全国大会関連事業

令和2年度の計画		令和2年度の結果
ア. 技能五輪全国大会予選	<p>実施方法：職業能力開発協会と共催 実施職種：2級技能検定の実施が予選を兼ねない職種（日本料理/西洋料理/電気溶接/美容など） 実施時期：4～5月 参加人数：各5名程度 （D ランク）</p>	<p>前期技能検定が中止となり、二次予選会出場に係る技能レベル判断ため、旋盤職種予選会を実施（補足資料 P1 参照） 職種：旋盤職種 日時：令和2年6月20日（土） 参加人数：2名 場所：山形職業能力開発促進センター ※ 電気溶接職種予選会は、昨年度末（令和2年3月14日）に実施済。</p>
イ. 競技大会への参加旅費支援	<p>(7) 技能五輪全国大会 （11/13～16、愛知県で開催） 選手 30名（18職種） 指導者 30名</p> <p>(イ) 若年者ものづくり競技大会 （7/29～30 広島市等で開催予定） 選手 15名（6職種） 指導者 15名 （D ランク）</p>	<p>(7) 技能五輪（参加者数25名） 中小企業や教育機関に所属する選手と指導者に対し、旅費と工具等運搬費を支援。 選手 22名（13職種） 指導者 19名 （補足資料 P2～4 参照）</p> <p>(イ) 若年者ものづくり競技大会 中止のため、支援対象者無し</p>

② ものづくりの魅力伝えるための取組

令和2年度の計画		令和2年度の結果
ア. ものづくりマイスター、ITマスター及びそれ以外の熟練技能者の活用	<p>(7) ものづくりフェスタ in 山形 2020 出展団体数 : 23 団体 ものづくり体験数 : 30 コース 実施日 : 11 月下旬の 2 日間 目標体験者数 : のべ 2,400 人 目標来場者数 : のべ 3,000 人</p> <p>(イ) 県内市町との共催による技能まつり</p> <p>a. 鶴岡市（つるおか大産業まつり） 職種（建築大工、建築板金、畳製作、日本料理、IT） ・ 10 月中旬 2 日間 ・ 目標体験者数 のべ 500 人 ・ 目標来場者数 のべ 20,000 人</p> <p>b. 河北町（かほくほくほくまつり） ・ 職種（建築大工、建築板金、左官、</p>	<p>(7) ものづくりフェスタ in 山形 2020 新型コロナウイルス感染防止の為、中止とした。</p> <p>(イ) 県内市町での技能まつりの実施</p> <p>県内の4市町と共催でイベントを計画したが、新型コロナウイルス感染防止の為、全てのイベントは中止となった。</p> <p>a. 鶴岡市（つるおか大産業まつり） 中止</p> <p>b. 河北町（かほくほくほくまつり） 中止</p>

	<p>建築塗装、IT)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10月中旬 1日間 ・ 目標来場者数 のべ 6,000人 <p>c. 酒田市（さかた産業フェア）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職種（建築大工、建築板金、左官、タイル張り、かわらぶき、IT） ・ 10月下旬 2日間 ・ 目標来場者数 のべ 10,000人 <p>d. 長井市（交流センターふらりまつり）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職種（建築大工、左官、畳製作、表具、IT） ・ 10月下旬 IT職種は2日間、他1日間 ・ 目標来場者数 のべ 1,000人 <p>(ウ) その他 ものづくりマイスター職種以外の実技指導を行なう。</p> <p>フラワー装飾</p> <table border="0"> <tr> <td>農業系高等学校</td> <td>4日間</td> </tr> <tr> <td>農林大学校</td> <td>6日間</td> </tr> <tr> <td>日本料理</td> <td>10日間</td> </tr> </table>	農業系高等学校	4日間	農林大学校	6日間	日本料理	10日間	<p>c. 酒田市（さかた産業フェア） 中止</p> <p>d. 長井市（交流センターふらりまつり） 中止</p> <p>(ウ) その他 ものづくりマイスター職種以外（熟練技能者）による実技指導。（補足資料 P4 参照）</p> <p>フラワー装飾</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業系高校 6日間（のべ 60名） <p>日本料理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 庄内日本料理技能向上研究会 20日間（のべ 120名）
農業系高等学校	4日間							
農林大学校	6日間							
日本料理	10日間							
イ. 技能競技大会の実施	中央技能振興センターと協力して技能競技大会を紹介する事業に取り組む。	ものづくりフェスタ in 山形 2020にて、共同開催を計画していたが、同イベントが中止となったため、中央技能振興センターによる単独開催（9/26(土) 山形市霞城セントラル）となった。						
ウ. 技能士展の実施	中央技能振興センターと協力して技能士会と連携し、技能士制度の紹介事業に取り組む。							
エ. 技能五輪全国大会・技能グランプリを活用した技能の理解促進	近隣の都道府県で開催される競技大会がある場合、チャーターバスを利用して見学を行う。山形県は対象外。	対象外のため実施せず						
オ. 「地域発！ いいもの」 応援事業の実施	「地域発！ いいもの」 応援のため、センターが定める募集要領及び募集要領に基づき、募集に係る周知を行い、応募書類の受付・チェック、センターへ応募書類の送付、センターからの結果を応募者へ通知するなどの業務を行う。	技能士会の会員や関係団体にパンフレットを送付したが、応募はなかった。また、地域の該当する活動を調査したが、該当する活動は見当たらなかった。						
カ. グッドスキルマーク事業の実施	グッドスキルマーク事業の促進のため、技能士会と協力し募集を積極的に行い、関連する手続き業務を実施する。	建具職種の製品（1件）を認定申請中。						

キ. 現代の名工紹介コンテンツ作成	卓越した技能者（現代の名工）の表彰制度と表彰された方（山形県は1名）を紹介するコンテンツを作成する。	建築大工の「樋口岳美氏」を訪ね、インタビューと写真撮影を行い、紹介コンテンツを作成し、提出。														
2. ものづくりマイスター等の認定、登録に関する業務																
令和2年度の計画		令和2年度の結果														
① ものづくりマイスター等の開拓	<p>本県にて指導依頼の多い職種のマイスターを重点的に開拓し、新規登録11名以上を目標とする。</p> <p>また、ITマスターは、本県の情報産業協議会等の団体と連携して情報収集等を行い、認定を目指す。</p>	<p>・新規登録 22名（目標11名）</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>機械加工</td><td>10</td></tr> <tr><td>造園</td><td>5</td></tr> <tr><td><u>機械保全</u></td><td><u>3</u></td></tr> <tr><td>電子機器組立て</td><td>1</td></tr> <tr><td>左官</td><td>1</td></tr> <tr><td><u>菓子製造</u></td><td><u>1</u></td></tr> <tr><td>プラスチック成形</td><td>1</td></tr> </table> <p>※ 下線は、県内に該当するマイスターが不足しており、新規登録を目標とした職種</p> <p>・ITマスター登録 0（目標1名）</p> <p>※これらは、第1～4回までの結果。</p>	機械加工	10	造園	5	<u>機械保全</u>	<u>3</u>	電子機器組立て	1	左官	1	<u>菓子製造</u>	<u>1</u>	プラスチック成形	1
機械加工	10															
造園	5															
<u>機械保全</u>	<u>3</u>															
電子機器組立て	1															
左官	1															
<u>菓子製造</u>	<u>1</u>															
プラスチック成形	1															
② ものづくりマイスター等への説明	新たにマイスター等に認定された方に、実技指導の前に指導技法等講習会を受ける必要があることを周知する。また、今年度初め実技指導を開始する前に、活動の条件などを説明する。	認定書の送付時に、講習会の参加が必要なマイスターに対し説明を行っている。また、今年度初めて実技指導を行う際に、活動条件などを記載した書類を送付した。														
③ 申請書類の取りまとめ	ものづくりマイスター及びITマスターに認定申請を行う者に対し、申請書類の確認を行って円滑な事務処理を支援し、申請書類を取りまとめ、認定機関（中央技能振興センター）に計5回の認定取次を行う。	現在まで4回の申請を行った。現在、5回目の申請書類を取りまとめている。														
④ ものづくりマイスター等に対する研修	コーナーは、新たに認定されたものづくりマイスターやITマスターに対し、実技指導の結果報告の作成方法等の事務を含む指導技法等講習を必要に応じて年4回程度実施します。	ITマスター1名(4/7)、ものづくりマイスター4名(7/3, 9/8, 11/28)に指導技法等講習会を実施した。都合により受講できなかった方がおり、今後も講習会を開催する予定。														

3. ものづくりマイスター等の活用に係る業務

① 若年技能者の人材育成に係る相談・援助等

令和2年度の計画		令和2年度の結果
ア. 相談窓口の開設と具体策	<p>コーナーに相談窓口を開設してコーディネータを配置し、企業・業界団体・教育行政機関及び小中学校・高等学校を訪問し、以下を行う。</p> <p>(ア) 技能検定の実技課題や技能競技大会の競技課題等を活用した若年技能者の人材育成</p> <p>(イ) 訓練施設や設備等の紹介</p> <p>(ウ) 実技指導等の相談・援助</p> <p>(エ) ものづくりマイスター及び IT マスター派遣のコーディネート等</p> <p>また、小中学校において「プログラミング」の学習が本格導入されることから、IT マスターの派遣を学校に働きかける。</p>	<p>常勤1名、非常勤2名のコーディネータに左記の業務を依頼している。コーディネータは企業・業界団体・教育行政機関及び小中学校・高等学校を訪問し、この制度を説明し、相談や実施時の立ち会いなどを行っている。</p> <p>なお、今年度は4～6月初めまで、新型コロナウイルスの影響で訪問が困難であり、この時期はデータ収集活動を行った。</p> <p>IT マスターの派遣は、独自の企画と周知活動により、200名近い受講者数（IT の魅力発信）となった。</p>

② ものづくりマイスター等の派遣による指導の実施

令和2年度の計画		令和2年度の結果																																						
ア. ものづくりマイスター等の派遣対象	<p>(ア) ものづくりマイスター等の活動状況</p> <p>a. ものづくりマイスター派遣人数 <u>目標 356 ポイント</u> ※評価法 企業へ派遣したマイスター数×1.5 +学校等へ派遣したマイスター数×0.75</p> <p>b. 企業への派遣件数 <u>目標 21 件</u></p> <p>c. 派遣先の内訳の目標(独自設定)</p> <table border="0"> <tr> <td>実技指導(企業)</td> <td>160 人日</td> </tr> <tr> <td>実技指導(工業高校等)</td> <td>160 人日</td> </tr> <tr> <td>ものづくりの魅力発信</td> <td>83 人日</td> </tr> </table> <p>(イ) 中小企業・業界団体等の受講者数 これまでの派遣実績を元に、技能検定課題を活用した実技指導を計画します。</p> <table border="0"> <tr> <td>a. 機械加工</td> <td>91 人日</td> </tr> <tr> <td>b. 電子機器組立て</td> <td>200 人日</td> </tr> <tr> <td>c. 石材施工</td> <td>50 人日</td> </tr> <tr> <td>d. 畳製作</td> <td>100 人日</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>441 人日</td> </tr> </table>	実技指導(企業)	160 人日	実技指導(工業高校等)	160 人日	ものづくりの魅力発信	83 人日	a. 機械加工	91 人日	b. 電子機器組立て	200 人日	c. 石材施工	50 人日	d. 畳製作	100 人日	計	441 人日	<p>(ア) ものづくりマイスター等の活動状況 (補足資料 P5～6 参照)</p> <p>a. ものづくりマイスター派遣人数 <u>結果 312 ポイント</u> ※110名×1.5+(104+92)名×0.75</p> <p>b. 企業への派遣件数 <u>19 件</u></p> <p>c. 派遣内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>実技指導(企業)</td> <td>110 人日</td> </tr> <tr> <td>実技指導(工業高校等)</td> <td>104 人日</td> </tr> <tr> <td>ものづくりの魅力発信</td> <td>92 人日</td> </tr> </table> <p>(補足資料 P10～11 参照)</p> <p>(イ) 中小企業・業界団体等の受講者数 (補足資料 P11 参照)</p> <table border="0"> <tr> <td>・ 機械加工</td> <td>106 人日</td> </tr> <tr> <td>・ 機械検査</td> <td>60 人日</td> </tr> <tr> <td>・ 機械保全</td> <td>4 人日</td> </tr> <tr> <td>・ 電子機器組立て</td> <td>3 人日</td> </tr> <tr> <td>・ 畳製作</td> <td>7 人日</td> </tr> <tr> <td>・ 機械・プラント製図</td> <td>17 人日</td> </tr> <tr> <td>・ 電気溶接</td> <td>3 人日</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>200 人日</td> </tr> </table>	実技指導(企業)	110 人日	実技指導(工業高校等)	104 人日	ものづくりの魅力発信	92 人日	・ 機械加工	106 人日	・ 機械検査	60 人日	・ 機械保全	4 人日	・ 電子機器組立て	3 人日	・ 畳製作	7 人日	・ 機械・プラント製図	17 人日	・ 電気溶接	3 人日	計	200 人日
実技指導(企業)	160 人日																																							
実技指導(工業高校等)	160 人日																																							
ものづくりの魅力発信	83 人日																																							
a. 機械加工	91 人日																																							
b. 電子機器組立て	200 人日																																							
c. 石材施工	50 人日																																							
d. 畳製作	100 人日																																							
計	441 人日																																							
実技指導(企業)	110 人日																																							
実技指導(工業高校等)	104 人日																																							
ものづくりの魅力発信	92 人日																																							
・ 機械加工	106 人日																																							
・ 機械検査	60 人日																																							
・ 機械保全	4 人日																																							
・ 電子機器組立て	3 人日																																							
・ 畳製作	7 人日																																							
・ 機械・プラント製図	17 人日																																							
・ 電気溶接	3 人日																																							
計	200 人日																																							

	<p>(ウ) 工業高校等の受講者数 これまでの派遣実績を踏まえ、技能検定課題を活用した実技指導を中心に計画する。なお、既に県内工業高校等ではマイスター制度を活用していることから、職種の拡大を視野に計画する。</p> <table border="0"> <tr><td>a. 機械加工</td><td>250 人日</td></tr> <tr><td>b. 電子機器組立て</td><td>575 人日</td></tr> <tr><td>c. 機械検査</td><td>100 人日</td></tr> <tr><td>d. 機械保全</td><td>200 人日</td></tr> <tr><td>e. 電気機器（電気系保全）</td><td>85 人日</td></tr> <tr><td>f. 建築大工</td><td>200 人日</td></tr> <tr><td>g. 造園</td><td>75 人日</td></tr> <tr><td>h. 電気溶接</td><td>75 人日</td></tr> <tr><td colspan="2" style="text-align: right;">計 1,560 人日</td></tr> </table> <p>(イ) 中小企業・業界団体等への派遣増加のための方策</p>	a. 機械加工	250 人日	b. 電子機器組立て	575 人日	c. 機械検査	100 人日	d. 機械保全	200 人日	e. 電気機器（電気系保全）	85 人日	f. 建築大工	200 人日	g. 造園	75 人日	h. 電気溶接	75 人日	計 1,560 人日		<p>(ウ) 工業高校等の受講者数 前期検定が中止となり、一部後期に移動した検定科目もあったが、全体として大幅な受講者減となった。</p> <table border="0"> <tr><td>a. 造園</td><td>266 人日</td></tr> <tr><td>b. 機械加工</td><td>89 人日</td></tr> <tr><td>c. 機械検査</td><td>17 人日</td></tr> <tr><td>d. 機械保全</td><td>16 人日</td></tr> <tr><td>e. 電子機器組立て</td><td>229 人日</td></tr> <tr><td>f. 建築大工</td><td>35 人日</td></tr> <tr><td>g. 機械・プラント製図</td><td>5 人日</td></tr> <tr><td>h. 電気溶接</td><td>43 人日</td></tr> <tr><td colspan="2" style="text-align: right;">計 700 人日</td></tr> </table> <p style="text-align: right;">(補足資料 P11 参照)</p> <p>(イ) 常勤コーディネータが多数の関係団体を訪問して丁寧に説明を行った結果、新規の企業から 7 件の実技指導依頼があった。また、白鷹町商工会工業部会の働きかけにより、白鷹町の企業にマイスターを派遣することができた。 ものづくりマイスターの企業への働きかけによって受講者増につながった例もあった。</p>	a. 造園	266 人日	b. 機械加工	89 人日	c. 機械検査	17 人日	d. 機械保全	16 人日	e. 電子機器組立て	229 人日	f. 建築大工	35 人日	g. 機械・プラント製図	5 人日	h. 電気溶接	43 人日	計 700 人日	
a. 機械加工	250 人日																																					
b. 電子機器組立て	575 人日																																					
c. 機械検査	100 人日																																					
d. 機械保全	200 人日																																					
e. 電気機器（電気系保全）	85 人日																																					
f. 建築大工	200 人日																																					
g. 造園	75 人日																																					
h. 電気溶接	75 人日																																					
計 1,560 人日																																						
a. 造園	266 人日																																					
b. 機械加工	89 人日																																					
c. 機械検査	17 人日																																					
d. 機械保全	16 人日																																					
e. 電子機器組立て	229 人日																																					
f. 建築大工	35 人日																																					
g. 機械・プラント製図	5 人日																																					
h. 電気溶接	43 人日																																					
計 700 人日																																						
③ 「目指せマイスター」プロジェクト																																						
令和 2 年度の計画		令和 2 年度の結果																																				
<p>ア. ものづくりの魅力発信</p>	<p>(ア) 小中学校等でのものづくり体験教室</p> <table border="0"> <tr><td>a. 学校数</td><td>40 校</td></tr> <tr><td>b. 講師（マイスター派遣）のべ</td><td>90 人</td></tr> <tr><td>c. 受講者数</td><td>1,200 人日</td></tr> </table> <p>(イ) 学校の教師を対象とした「ものづくりの魅力」発信講座</p> <p>(ウ) 保護者対象「ものづくりの魅力」講座</p>	a. 学校数	40 校	b. 講師（マイスター派遣）のべ	90 人	c. 受講者数	1,200 人日	<p>(ア) ものづくり体験教室の結果 (補足資料 P6～9 参照)</p> <table border="0"> <tr><td>a. 学校数</td><td>15 校</td></tr> <tr><td>b. マイスター派遣数 のべ</td><td>92 人</td></tr> <tr><td>c. 受講者数</td><td>993 人日</td></tr> </table> <p>(補足資料 P12～13 参照)</p> <p>(イ) 担当教師を対象に、ものづくり体験教室の実施前に講座内容の説明を行った。</p> <p>(ウ) 学年行事などで保護者が同席する体験教室にて、「ものづくりの魅力」を伝える講座を実施した。</p> <p>※ 新型コロナウイルスの影響により、郊外</p>	a. 学校数	15 校	b. マイスター派遣数 のべ	92 人	c. 受講者数	993 人日																								
a. 学校数	40 校																																					
b. 講師（マイスター派遣）のべ	90 人																																					
c. 受講者数	1,200 人日																																					
a. 学校数	15 校																																					
b. マイスター派遣数 のべ	92 人																																					
c. 受講者数	993 人日																																					

	<p>(イ) 事業場見学 実施に取り組む。</p> <p>(オ) 職場体験実習の実施要請等 一人親方や自ら事業を営むものづくりマイスターに対し、当該職場ならではのものづくり体験の実施を含む職場体験実習の実施を企画する。</p> <p>(カ) パンフレット配布と広報</p>	<p>学習の代替として本制度を活用した学校も複数あった。</p> <p>(イ) 事業場見学 希望がなく未実施。</p> <p>(オ) 職場体験実習の実施要請等 問い合わせがなく未実施。</p> <p>(カ) パンフレット配布と広報 当コーナーの運営するホームページ「ものづくりみらい net やまがた」にて、この事業や関連情報（申請書類等も入手可能）と、ものづくり体験の様子を掲載。各種の会議等で配布した他、6月に県内の全小中学校に「目指せマイスタープロジェクト」のパンフレットを送付。</p>
イ. 「ITの魅力」発信	<p>児童・生徒の情報技術に関する興味を喚起し、情報技術を使いこなす職業能力を付与するため、ITマスターを活用した「ITの魅力」発信講座を実施する。</p> <p><u>目標 受講者数 80人</u></p>	<p>小中学校にて「ITの魅力」発信講座を実施した。今年度は、小学生向けの講座では、当コーナーが企画した「ボール型ロボット」を教材として実施し、好評を得た。</p> <p>(補足資料 P9 参照)</p> <p><u>結果 受講者数 197名</u></p> <p>(補足資料 P14 参照)</p>

4. 地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営

令和2年度の計画		令和2年度の結果
① 連携会議の設置	<p>地方自治体、経済団体、労働局、教育行政機関等をメンバーとする技能振興コーナー主催の連携会議を年2回開催します。連携会議ではメンバーの意見を取り入れ、推進計画や実施計画の策定、地域の産業特性や就業構造を踏まえた技能振興の取り組みや連携・協力のあり方検討、ならびに事業の進捗管理を実施します。</p> <p>* 連携会議の構成</p> <p>山形労働局、 山形県（産業労働部雇用対策課） 山形県教育委員会（義務教育課） 山形県教育委員会（高校教育課）</p>	<p>左記の機関の方々にご承諾いただき連携会議を設置。委員の所属団体様から以下のご支援をいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 連携会議での意見交換 ・ マイスター制度の活用に関する助言

	山形県中小企業団体中央会 山形県商工会議所連合会 山形県商工会連合会、 山形県企業振興公社、連合山形、 高齢・障害・求職者雇用支援機構山形 支部、山形県技能士会、 山形県私立学校総連合会	
② 連携会議の開催	年 2 回の連携会議を実施 第 1 回 5 月開催、今年度の計画等を説明 第 2 回 12 月に開催 本年度の事業の進捗状況を報告し、 助言を得る。また連携会議の連携協 力のあり方を協議する。	連携会議の実施日 第 1 回 令和 2 年 5 月 第 2 回 令和 2 年 12 月 令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染防 止のため、2 回の会議とも会議資料を送付し 文書でご意見をいただく方式とした。

5. 全国斉一的な事業展開の担保

当コーナーは、各コーナーが一堂に会する全国会議等に積極的に参加して業務調整などを行い、全国斉一的な事業展開に寄与する。

都道府県コーナー全国会議
北海道・東北ブロック会議
※ 上記は、文書による会議となった。

6. 活動目標と結果

	令和 2 年度の計画	令和 2 年度の結果
① ものづくりマイスターの認定者数	新規登録 目標 11 人以上 年度当初 登録 35 職種、264 名	新規登録 7 職種、22 名 登録 35 職種、 のべ 286 名
② ものづくりマイスターの活動数（派遣数や受講者数など）の目標	ものづくりマイスター活動目標 受講者数 のべ 3,321 人 派遣人数 356 ポイント 派遣団体数（企業） 21 件	ものづくりマイスター活動の結果 受講者数 のべ 1,893 人 派遣人数 312 ポイント 派遣団体数（企業） 19 件 -- 派遣先の内訳 -- 企業(A) 200 人 工業高校等(B) 700 人 ものづくり体験(C) 993 人
	IT マスターの活動目標 新規認定者 目標 1 人 IT の魅力発信講座 受講者数 目標 80 人	IT マスターの活動結果 IT マスターの新規認定者 0 人 IT の魅力発信講座受講者数 197 人

<p>③ 目標達成のための効果的な取り組み</p>	<p>満足度の目標（以下の項目について、それぞれ 90%以上）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実技指導を利用した企業・業界団体又は教育訓練機関の満足度 ・ 実技指導の内容を理解し、今後に生かせるとした訓練生の割合 ・ 授業等への講師派遣を利用した学校の満足度 ・ 技能検定又は技能競技大会を人材育成に活用する契機となった割合 	<p>今後の予定を含め、満足度の目標は達成の見込み。</p>
<p>④ 活動目標達成のための効果的な取り組み方法について</p>	<p>HP や広報資料を見直し、理解容易な平易な内容にする。また、企業訪問を強化し、制度を積極的に紹介する。</p>	<p>当コーナーが作成する広報資料の見直しを行った。また、データ共有システムに関する研修を行い、事務処理の効率化を図った。多くの企業を訪問し、制度の周知に努めた。</p>